

2011 年 1 月 31 日 NEWS RELEASE No.70

『第 5 回 しょうゆ感想文コンクール』入賞者決定！
—全国の小学生(3 年～6 年)から、921 点の応募—

日本醤油協会（会長 濱口道雄）では「食育」推進の一環として、「第 5 回しょうゆ感想文コンクール」を実施いたしました。

この感想文コンクールは、「食育」推進の一環として実施している「しょうゆ もの知り博士の出前授業」や「工場見学」「学校の調べ学習」と連動した企画で、全国の小学生(3 年生～6 年生)を対象に、それぞれの部門で体験したことを感想文という形で記録にとどめていただくために、広く自由な発想の感想文を募集した企画です。（平成 22 年 12 月 17 日応募締め切り）

全国の児童から 3 部門に 921 点（「出前授業部門」：784 点、「工場見学部門」：55 点、「調べ学習部門」：82 点）の応募をいただきました。それぞれの部門に日本の伝統調味料・しょうゆについて、子供らしい感性豊かな感想文が数多く寄せられました。

去る 1 月 24 日（月）に、下記の選考委員による「審査委員会」を開催し、厳正な審査の結果、別紙のとおり、各部門の受賞作品を決定いたしました。

なお、「審査委員会」では、予備審査を通過した 72 点の作品の中から、A：創造性（構想力）、B：文章力、C：発展性、等を選考基準として、厳正な選考を行いました。

《第 5 回「しょうゆ感想文コンクール」審査委員（敬称略・順不同）》

嶋野道弘（文教大学教育学部教授）
奈須正裕（上智大学総合人間科学部教授）
畑江敬子（和洋女子大学家政学部教授／お茶の水女子大学名誉教授）
松田博康（玉川大学教職センター教授）
正田 隆（醤油 PR 運営委員会委員長）
金子 収（日本醤油協会専務理事）

また、「第 6 回 しょうゆ感想文コンクール」は、「出前授業部門」「工場見学部

門」「調べ学習部門」を対象にして、本年4月より開始いたします（応募締め切り：平成23年12月16日予定）。これまで以上に全国の多くの児童の皆さんからのご応募をお待ちしています。

以上の件に関する取材のお問合せは

しょうゆ情報センター（醤油PR協議会）
大関 恒雄（事務局長）、中川美代子
住所 東京都中央区日本橋小網町3-11（〒103-0016）
電話 03-3666-3286 FAX 03-3667-2216
URL：<http://www.soyssauce.or.jp> E-mail soyic@soyssauce.or.jp

「第5回しょうゆ感想文コンクール」最優秀賞 講評（審査委員会）

●出前授業部門 最優秀賞

「しょうゆのおもしろさ」

田中 綾さん（広島県・広島市立矢野西小学校6年）

ふだん身近すぎてじっくり考えたこともない調味料「しょうゆ」。出前授業を受けて興味深く感じたことを整理し、四つにまとめました。様々な種類のしょうゆの香りを作り出す微生物の働き、他の調味料とのハーモニーを作り出すバランス力、素材の持つ味を活かしたり、生ぐさなどを消す力、国を超えて愛される普遍的なしょうゆの味の魅力、それらが日本の食文化を支えてきたのだと気づきにつながっています。食事に欠かせないしょうゆの価値の再発見を、自分の言葉と簡潔な構成でしっかり表現しています。

●工場見学部門 最優秀賞

「歩いて、歩いて」

後藤ゆうひさん（秋田県・横手市立増田小学校6年）

転校した友達からもらった金魚の水そうに、バケツで水を運び入れるその大変さから、しょうゆ工場の職人さんたちの姿に思いを巡らします。工場見学に行くと、しょうゆの木桶に原料を運び入れるために何度も歩いて往復する職人さんたちの姿を見かけます。ただ原料を運ぶだけではなく、麴やしょうゆに声をかけるようにして、麴やしょうゆの様子を見守り、しょうゆ蔵を守っています。そうした時間や手間をかけながら伝統の味を守る姿に感心し、「宝物」としてしょうゆを大切にしようと実践に結びつける。言葉使いも巧みで、工場見学によって得られた気づきが見事に表現されています。

●調べ学習部門 最優秀賞

「しょうゆを使った料理トップ10」

伊藤千尋さん（神奈川県・茅ヶ崎市立小和田小学校6年）

しょうゆを使った好きな料理を、トップテンとしてまとめ、紹介してくれました。10位から順に、肉じゃが／納豆ご飯／和風パスタ／焼きうどん／のり弁当／しょうゆせんべい／まぐろ丼／いそべ焼き／しょうゆラーメン、そしてトップのお刺身に続きます。テレビ番組等によくある表現手法ですが、本人の好みを羅列したというのではなく、それぞれが日常的な具体物になっていて、家族の思いと合わせて表現され興味深く読めます。起承転結もしっかりしていて、楽しい調べ学習の感想文として高く評価されました。

第5回しょうゆ感想文コンクール入賞者一覧

2011 年 1 月 31 日

主催：日本醤油協会

審査委員：嶋野道弘（文教大学教授）、奈須正裕（上智大学教授）、
畑江敬子（和洋女子大学教授）、松田博康（玉川大学教授）、
正田 隆（醤油 PR 運営委員会委員長）、金子 収（日本醤油協会専務理事）

賞名	受賞者詳細		
1. 最優秀賞 (各部門1点・計3点)	出前授業部門	しょうゆのおもしろさ	
	広島県	広島市立矢野西小学校	6 年 田中 綾
	工場見学部門	歩いて、歩いて	
	秋田県	横手市立増田小学校	6 年 後藤 ゆうひ
2. 優秀賞 (各部門1点・計3点)	調べ学習部門	しょうゆを使った料理トップ10	
	神奈川県	茅ヶ崎市立小和田小学校	6 年 伊藤 千尋
	出前授業部門	すごい！！しょうゆマジック	
	神奈川県	横須賀市立大塚台小学校	5 年 蛭田 いづみ
3. 佳作 (各部門5点・計15点)	工場見学部門	おいしさのひみつ	
	岩手県	陸前高田市立長部小学校	3 年 山崎 亜侑
	調べ学習部門	僕自身が知っているしょうゆ	
	神奈川県	茅ヶ崎市立小和田小学校	6 年 滝口 久太
4. 審査委員特別賞 (各部門1点・計3点)	出前授業部門	こうじきんマジック	
	群馬県	邑楽町立長柄小学校	3 年 荒井 紳太朗
	出前授業部門	しょうゆ博士の出前授業	
	東京都	小平市立学園東小学校	5 年 武田 梨緒
	出前授業部門	びっくりしょうゆマジック	
	愛知県	あま市立宝小学校	3 年 伊藤 向日葵
	出前授業部門	しょうゆはかせのひみつの授業	
	三重県	桑名市立久米小学校	3 年 谷口 拓海
	出前授業部門	食卓までの道のり	
	沖縄県	西原町立西原東小学校	5 年 石川 卓実
	工場見学部門	工場って、すごいぞ！	
	秋田県	鹿角市立花輪北小学校	3 年 佐藤 優光
	工場見学部門	もろみをまぜたよ	
	島根県	雲南市立中野小学校	3 年 角折 惟吹
	工場見学部門	しょうゆのひみつ	
	島根県	雲南市立中野小学校	3 年 藤原 悠斗
	工場見学部門	海のめぐみ岡本醤油	
	広島県	大崎上島町立東野小学校	3 年 出口 慶幸
	工場見学部門	これがしょうゆだ	
	福岡県	宗像市立地島小学校	4 年 北原 隆乃介
	調べ学習部門	調べ学習で分かったこと	
	秋田県	潟上市立飯田川小学校	4 年 菊地 亮太
	調べ学習部門	しょうゆの世界	
	神奈川県	茅ヶ崎市立小和田小学校	6 年 吉見 香奈
	調べ学習部門	しょうゆをなめた	
	長野県	佐久市立望月小学校	3 年 竹花 賢人
	調べ学習部門	該当作品なし	
	調べ学習部門	該当作品なし	
4. 審査委員特別賞 (各部門1点・計3点)	出前授業部門	しょうゆは料理のお手伝いさん	
	広島県	広島市立温品小学校	5 年 木村 真梨
	工場見学部門	世界に広まれ岡本醤油	
	広島県	大崎上島町立東野小学校	3 年 岡本 康生
	調べ学習部門	該当作品なし	

※学年は平成 22（2010）年度です。

賞名	都道府県	学校名
団体奨励賞（1 校）	広島県	広島市立矢野西小学校